

聖母病院における看護職員負担軽減計画(令和6年度)

令和6年4月現在の看護部門の勤務状況

看護師	常勤90名、非常勤20名(常勤換算12.8)
助産師	常勤69名、非常勤13名(常勤換算6.4)
准看護師	常勤0名、非常勤1名(常勤換算1)
看護補助者	常勤18名、非常勤7名(常勤換算5.1)

令和5年度の常勤看護師平均時間外勤務 4.48時間(57分減)

有休取得率 69.5%

分野	現状	今年度の目標	具体策
業務量の調整			
	・研修等の日程が限られているため、参加負担がある	・参加しやすい工夫	・オンデマンドやe-ラーニング等の活用
	・ADLが低下している患者が増加している	・IT, ICTの導入	
看護職員と他職種との業務分担 (薬剤科)	・病棟での薬剤業務の多くを看護職員が行っている	・病棟業務の拡大	・患者の自己管理に向けた介入
			・新規薬剤の補充
看護職員と他職種との業務分担 (栄養科)	・ADLが低下している患者が増加している	・栄養士の介入	・患者、家族へ嚥下食の紹介
			・とりみ調整の実施
看護職員と他職種との業務分担 (リハビリテーション科)	・ADLが低下している患者が増加している	・STや歯科衛生士の介入	・口腔ケアの実施
			・とりみ剤や食事形態等の患者・家族指導
		・PTの介入	・食事時の移動・移譲と姿勢調整
看護職員と他職種との業務分担 (ME科)	・医療機器の管理を看護部が行っている	・MEに一部移譲	MEと連携する
	・点検が不明瞭な機器がある	・MEに一部移譲	
看護補助者	・ADLが低下している患者が増加している	看護補助者ラダーの	・看護補助者の教育
多様な勤務形態	・子育て中の看護職員が増えている	・勤務形態の多様化	・時間管理の勤務表の作成
勤務環境の改善		・夜勤・交代制勤務に関するガイドラインに順守した勤務体制	
		心理的安全性のある職場作り	